

廃棄物処理施設見学バスツアーの実施結果について（平成 26 年度第 2 回）

栃木県県西環境森林事務所

1 取組の趣旨

廃棄物処理施設は、循環型社会の形成において必要不可欠な施設ですが、普段県民の皆さんが目にする機会が少ないこともあり、「迷惑施設」として捉えられることが多いのも事実です。

そこで、県では、廃棄物処理施設に対する理解を深めていただくことを目的として、施設見学バスツアーを企画しています。

2 ツアーコンセプト

循環型社会における廃棄物処理施設の役割を実感していただくために、廃棄物の処理施設に加え、廃棄物の排出抑制や有効利用の取組を実践している工場へ皆さんを御案内しました。

3 実施日

平成 26 年 11 月 29 日（土曜日）

4 参加者

41 名（うち小学生 6 名）

5 見学ルート

8:50 栃木県庁出発

9:50 日光市役所出発

10:10-11:10 太子食品工業(株)日光工場（日光市）

【豆腐製品製造工場を見学し、産業廃棄物の排出状況や有効利用について学習】

13:00-14:20 サンエコサーマル(株)（鹿沼市）

【廃棄物の焼却施設を見学し、廃棄物の処理工程や環境への配慮の取組を学習】

14:50-15:50 ジャパンテック(株)宇都宮工場（鹿沼市）

【ペットボトルリサイクル施設を見学し、リサイクルの工程と 3 R 社会を学習】

16:55 日光市役所到着

17:50 栃木県庁到着



6 当日の様子

施設見学の際には多くの質問があり、参加者と事業者の間で活発なやりとりが行われました。

参加者からは、「家庭でしっかり分別することの重要性を実感できた」、「各業者の方が環境に配慮して業務を行っていることを知ることができて良かった」等の意見を頂きました。

7 今後について

平成 27 年 3 月に今年度第 3 回目のバスツアーの開催を予定しています。詳細は、県民だよりや県廃棄物対策課のホームページ等でお知らせします。

バスツアー アンケート結果

H26.12 県西環境森林事務所

○参加者:41名 ○有効アンケート回答:41件

Q.1 性別を教えてください。 Q.2 年代を教えてください。 (単位:名)

男性	女性	~12	13~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~
17	24	6	0	0	0	7	4	10	14

Q.3 バスツアーをどのように知りましたか。

①県民だより	②新聞記事	③県HP	④学校からの紹介	⑤家族、知人の紹介	⑥その他
6	17	1	8	7	2

官公庁に設置されたチラシ、など

Q.4 参加の理由(複数回答可)

①環境・廃棄物に興味あり	②廃棄物処理施設を見たことがないため	③その他
24	21	3

子どもに環境や廃棄物等に対して理解してもらいたかった、など

Q.5~Q.7 施設見学先について

見学先	①良かった	②つまらなかった	③どちらでもない	④無回答	主なご意見
太子食品 工業(株) 日光工場	37	1	2	1	排出される多くの廃棄物を有効に再利用していることがわかった。
サンエコ サーマル(株)	39	0	1	1	廃棄物焼却時の熱を発電に利用し、環境に配慮して誇りを持って働いていることがわかった。
ジャパンテック (株) 宇都宮工場	31	0	3	7	最先端の技術を使っていて日本のペットボトル再生利用率がとても高いことがわかった。

Q.8 今回のバスツアーは、環境や廃棄物を考えるにあたり参考になりましたか。

①参考になった	②参考にならなかった	③どちらでもない	④その他
40	0	1	0

Q.9 Q.8で「参考になった」と回答した方は、具体的に何の理解が深まりましたか。(複数回答可)

①処理施設の役割	②処理施設の安全性	③製造業者の取組姿勢	④処理業者の取組姿勢
22	23	21	27